

第4章 取り組むべき方針

4.1 ビジョンにおいて理想とする将来像

本市は、平成21年度に策定した「松原市水道ビジョン」に示された『市民のための水道』～安全で安心できる豊かな生活を次世代へ持続させる水道～を目指して様々な課題に取り組んできましたが、近年、料金収入が低迷する中、老朽化により更新時期を迎えた水道施設の改良や再構築が必要となるなど水道事業を取り巻く環境はより一層厳しさを増しています。

水道の理想像は、時代や環境の変化に柔軟に対応しつつ、水質基準に適合し、必要とされる量をいつでも、どこでも、誰にでも合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能でなければなりません。

松原市新水道ビジョンにおいても、市民の視点に立った安全で安心できる水道の持続性の観点から、平成21年度に策定した本市水道ビジョンに示された理想像を継続することとします。



4.2 目標の設定

水道事業を取り巻く環境変化に対応するため、これまでの安全・安心、安定をベースとした水の供給や持続可能な運営基盤に加え、「安全」「強靱」「持続」の3つの基本方針に則り、施設規模の最適化などの施策を行い、経営状況の可視化を踏まえて、事業を推進していきます。

